

夏休み 子ども体験デー In さとらんど



夏も

令和5年8月3日（木曜日）、札幌市さとらんど交流館にて、北海道森林管理局のほか北海道農政事務所、北海道開発局、横浜植物防疫所札幌支所、動物検疫所北海道・東北支所、北海道漁業調整事務所の6機関主催で「夏休み子ども体験デー」を開催し、各機関が特色を生かした体験ブースを出展しました。

このイベントは、北海道の基幹産業である農林水産業に関する体験を通して、親子のふれあいを深め、子どもたちが夏休みに広く社会を知る体験活動の機会とするとともに、農林水産関係の施策に対する理解を深めてもらうことを目的として開催しています。



北海道森林管理局は「木のコースター・木のたまごストラップづくり」「もくねんさん（おがくず粘土細工）」の体験ブース、「北の森カルタ&北海道の樹木パネル」展示を行いました。



木のコースター・ 木のたまご ストラップづくり

輪切り板や木のたまごにイラストを描いて、自分だけのコースターやキーホルダー、ストラップを作成し、木の感触や木の香りを感じてもらうことができました。



もくねんさん （おがくず粘土細工）

「もくねんさん」は、鉛筆を製造する際に出るおがくずからできた、木の香りがする粘土です。自由にいろいろな作品を作りました。



おがくずが
かわいい作品に！



木育

技術普及課



カルチャーナイト 2023

In 北海道森林管理局
(ウッディホール)



令和5年7月21日(金曜日)、認定NPO法人カルチャーナイト北海道の主催による「カルチャーナイト2023」が開催され、北海道森林管理局もイベントに参加しました。

「カルチャーナイト」は、北欧発祥の行事で、札幌市内全域の公共・文化施設、企業施設を一日だけ特別に夜間開放するほか、地域文化を楽しく学べる動画コンテンツを配信するイベントです。

札幌での開催は今年で21周年を迎え、北海道森林管理局の参加は13回目となります。

北海道森林管理局は1階のウッディホールで、「年輪ドミノ」、「VRで森林擬似体験」、職員が製作した「北の森カルタ」を使った「森moriカフェ」(森林教室)等の5つのメニューを実施しました。

年輪ドミノに挑戦!

樹齢315年のクロエゾマツから作られたドミノを使って、たくさんの子供たちに遊んでいただきました。「ドミノを倒した時の木の音がいい、木のドミノの柔らかな感触がとてもいい」等、木の良さを改めて感じてもらうことができました。



VRで森林擬似体験

VRゴーグルやタブレットを使って森の中を擬似体験します。

「森の中を歩いているみたい」、「実際に山へ行ってみたい」等、森林に興味を持ってもらうことができました。



森moriカフェ

始めに写真やイラストで、樹木や葉っぱ、動物、森林について知ってもらい、その後は「北の森カルタ」で札を取り合います。



1番札を取った人には「木んメダル」授与!

